

第5回富士見市生涯学習推進市民懇談会会議録

日 時 平成27年8月24日（月） 10：30～12：00
場 所 富士見市役所 市長公室
出席者 ○市民懇談会参加者

岩本	川上	新井	前田	世羅	狐塚
○	○	○	欠	○	○
山崎	氣賀澤	佐藤	岡田	守山	矢島
欠	○	○	○	○	○

○事務局

【地域文化振興課】市川課長、中嶋副課長、大下主事
【生涯学習課】木村課長、坂本主査

1 開 会

2 議 事 岩本座長

(1) 資料確認

事務局より配布資料の確認を行った。

(2) 協議事項

・生涯学習推進基本計画の見直しについて

見直しの進め方を事務局より説明した。

委 員) 第2次の計画という事は、6年目以上の事業は、第1次計画が5年間であったので、引き続き開催されているという事か。

事務局) 第1次計画時より実施されている事業である。

委 員) 「ららぽーと富士見」の開業など市民生活を取り巻く環境の変化も踏まえた意見をいただきたいとの事務局からの要望があったが、「ららぽーと富士見」の開業で青少年の生活環境が変化している等、地域の大きな変容やそれに伴う課題解決等も今回の生涯学習計画の見直しに盛り込む必要があるのか。

事務局) 広義の社会環境の変化や世界情勢まで視野にいれた議論よりも、日常生活に根差した視点でご意見をいただきたいと考えている。

委 員) ある程度生活実感を中心に話す方がわかりやすい。世界情勢までは広げすぎだが、「ららぽーと富士見」の開業は日常生活に根ざしているので、取り入れてもいいのではないか。

委員)「ららぽーと富士見」でイベントと生涯学習の事を連携していくくらいの事でいいのではないか。

委員) いろいろな意見があり、身近に感じたことを出して、最終的に事務局にまとめていただくのが良いと思う。

委員) 世界情勢の変化等は範囲に含まないが、常識の範囲で生活実感をどう見直していくかというレベルで整理をしたい。

委員) 次回会議までにいただいた資料の検証は必要だと思う。それに基づき、現在、開催されている生涯学習事業はこれでいいとか、もっと積極的に開催した方がよいのかという議論を進めたい。限られた会議の中で纏めていける議論をしていきたい。

委員) 公民館が新規にやっている事業は、市民からの提案も考慮しながら開催されているのか。また、市民懇談会として事業提案を行っても良いのか。

事務局) 今回配布した各行政セクションで行なわれている生涯学習の現状プランに基づいて、ご意見やご提案を承りたい。今後の事業展開については、ご意見ご提案を基に庁内の「富士見市生涯学習推進委員会」で検討を行う。

・市民のニーズについて（市民意識調査から）

事務局より、市民意識調査をもとに、市民の現在のニーズについてご説明を行った。

委員) このアンケートはどのような対象に向けて行ったのか。

事務局) 無作為抽出した 3000 名の市民を対象に行い、1273 件回収した。

委員) 公民館で申し込みの方法がわからないという傾向が出ているが、何か対策はあるか。

事務局) 丁寧に説明をし、混乱が起きないようにしていく。

委員) 鶴瀬東がアンケート結果で満足度が低い傾向があるが、それはなぜなのか。

事務局) 無作為抽出したので、全部の人が思っているわけではないが、様々な要因があると考えている。

・その他

1、事務局より、市の施策について基本構想の冊子を配布したので、それを参考にして欲しいことを説明した。

2、事務局より、氣賀澤さんを文化芸術振興委員会の委員に推薦したことを報告した。

- 3、事務局より、当課の事業で新たに子ども文化芸術大学ふじみを開催するので、ぜひお知り合いで参加を希望する方がいればお伝えして欲しい旨を依頼した。
- 4、事務局より地域活性化研究会のメンバーを募集しているので、ぜひ参加して欲しいことをお知らせした。
- 5、事務局より、次回の懇談会スケジュールについては、9月下旬をめどに座長と調整する事をお伝えした。

3 閉 会